

木造住宅の防火・耐震アンケートご協力をお願い

関西木造住文化研究会とは？

1998年に発足以降、各地の伝統構法の技能者、建築・防火・防災研究者、設計者、施工者等、さまざまな分野の多くの方々との協働研究方式で、京町家をモデルに、伝統木造住宅（＝伝統構法の木造住宅）の「地域固有の木造伝統文化を活かした防火・耐震性向上手法の研究開発」と研究成果の各地への普及啓発に継続的に取り組んでいます。

また、新潟県中越地震をきっかけに、被災住宅の修復技術の情報支援活動に取り組んでいます。

アンケートの目的

各地で近い将来、大地震発生が危惧されている中で、各地の人々、暮らし、歴史文化を地震・火災から護り、安心して暮らし続けられる住まい・まちづくりを実現していくための社会的整備が急務の課題となっています。

当会では、今年度、これまでの研究成果をふまえて、各地の伝統的な木造住文化と歴史的まちなみを地震や火災から護り抜くための研究とその成果の普及啓発活動に取り組んでいます。その一環で、各地の伝統文化・歴史的まちなみを護り抜くための防火・耐震上の課題を収集して、その解決策を検討・提案するためのアンケートを行っています。趣旨に賛同いただける方はアンケートにご協力をお願いいたします。

平成22年2月6日

関西木造住文化研究会（略称KARTH<sup>カース</sup>）

代表 田村 佳英

アンケートの返信方法

お手数ですが、アンケートの回答用紙は2月26日(金)までに、下記までFAXで返信して下さい。  
回答内容の個人情報・プライバシーの保護については厳守いたします。

アンケートにご協力いただいたお礼に、ご希望の方には、当会の防火・耐震に関する研究会・セミナー・KARTH地震ネット\*のお知らせを、年内の間、メールでご案内させていただきます。  
メール案内をご希望の場合は、下記にメールアドレスをご記入下さい

メールアドレス

（\*KARTH地震ネットとは、地震被災地の被災住宅の修復支援情報をメールで配信しているネットワークです）

問合せ先・アンケート返信先

関西木造住文化研究会（略称KARTH：カース。Kansai Association for the Research in Traditional Housings）

FAX 075-411-2725、TEL 075-411-2730 悠（ゆう）計画研究所内、

京都市上京区上立売通浄福寺西入ル姥ヶ東西町632、〒602-8485、

E-mail：[info@karth.sakura.ne.jp](mailto:info@karth.sakura.ne.jp)、<http://karth.blog13.fc2.com/>

KARTH地震ネット：<http://karth-net.at.webry.info/>

本アンケートの実施は平成21年度国土交通省の住まい・まちづくり担い手事業（長期優良住宅等推進環境整備事業）の補助を受けています。（（社）日本建築学会近畿支部協賛事業）

## 関西木造住文化研究会 木造住宅の防火・耐震アンケート

〔ご記入はさしつかえない範囲で結構です〕

お名前 \_\_\_\_\_、住所(市町村名のみで結構です) \_\_\_\_\_

所属 \_\_\_\_\_、年代 \_\_\_\_\_ 代、

電話番号 \_\_\_\_\_、FAX 番号 \_\_\_\_\_

### 1. 建物外周部の外壁土壁・化粧軒裏・外部木製建具、内装などについて

木や土壁を使った伝統意匠や歴史的まちなみ景観を守り活かしながら法令上必要な防火性能を確保するために、日頃、感じている悩み・疑問・要望などがあればご記入下さい。

建物の構造・用途は木造住宅以外でもかまいません。

例1 木や土壁を使って \_\_\_\_\_ のようなデザインをしたいが、法令上の防火規制の \_\_\_\_\_ を満たすためにはどのようにしたらよいか？またその理論的根拠を知りたい。

例2 地域で継承されてきた伝統意匠の \_\_\_\_\_ のデザインを今後も継承・活用していきたいが、法令上の防火規制の \_\_\_\_\_ を満たすための要点とその理論的根拠を知りたい。

### 2. 土壁や木材あらかし軒裏に関わらず、また、伝統構法の木造に関わらず、外壁や軒裏についてどのような仕様を法令に位置づけたいか、ご要望がありましたら、その内容と理由をご記入下さい。

### 3. 国土交通省告示仕様について

平成16年の国土交通省告示改正により、代表的な伝統仕様の土壁や木があらわしの化粧軒裏でも、ひと工夫することにより「防火構造」として使えるようになりました。

今まで、新築や改修の際に、告示仕様の「木があらわしの化粧軒裏」や「竹小舞下地の土壁」を防火構造として使ったことがありますか？ 印をおつけ下さい。

(外壁)ない、ある(新築、改修、構造・用途：木造住宅、その他【 】、事例 件程度)  
 (化粧軒裏) ない、ある(新築、改修、構造・用途：木造住宅、その他【 】、事例 件程度)

上記 の質問の中で、「ある」と答えた方へ

A. 下記の中で使ったことのある告示仕様に 印をおつけ下さい。複数回答でもかまいません。

#### 外壁土壁(竹舞下地)の(防火構造仕様)

- 1 . 真壁裏返し塗り、 2 . 土壁の上に大壁板張り、 3 . 土壁の上に腰板張り、  
 4 . 真壁裏返し塗りなし、 5 . 真壁裏返し塗りなしの上に大壁板張り、  
 6 . その他 ( )

#### 木があらわしの化粧軒裏の準耐火構造仕様

下表中、面戸仕様の2又は3を使った場合は、シックイ、土、モルタルのうち、使った材料にも 印をおつけ下さい。

告示仕様の種類(下表中、使ったことのある仕様に 印をおつけ下さい)	
化粧野地板	1. ムクの厚30ミリ以上の木材、 2. 厚15ミリ以上の木材2重張り、 3. その他 ( )
	(上記仕様を採用した理由)
面戸の仕様	1. 厚45ミリ以上の木材
	2. 厚12ミリ以上の木材の屋内側に厚40ミリ以上のシックイ、土、モルタルを被覆
	3. 厚30ミリ以上の木材の屋内側又は屋外側に厚20ミリ以上のシックイ、土、モルタル被覆
	(上記仕様を採用した理由)

B. 上記Aの告示仕様を使った際に、設計・施工上、苦勞したことや悩んだことがあればご記入下さい。

既存の伝統木造住宅(=伝統構法の住宅)の建物外周部の外壁・軒裏・外部建具の防火改修について  
 木や土壁の伝統意匠を活かしながら、法令上の防火性能を実現するための「防火改修」を普及させる上で「課題」と感じていることをご記入下さい。

4 . 既存の伝統木造住宅( = 伝統構法の住宅)の耐震改修について

日頃、感じている悩み、疑問、課題や、課題解決に向けた提案などがあればご記入下さい。

耐震改修の普及の障害になっていると感じている課題があれば、ご記入下さい。

耐震改修を促進するための対策についてご意見をご記入下さい。

5 . 竹小舞下地の土壁の木造住宅について

今まで竹小舞下地の木造住宅を新築したことがありますか？下記に をおつけ下さい

ない、ある（  伝統構法、 伝統構法以外、事例 件程度 ）

今後、竹小舞下地の伝統構法の木造住宅を新築したいと思いますか？その理由もご記入下さい。

新築したい、思わない、その他（   ）

その理由（

）

竹小舞下地の土壁の壁倍率は告示仕様を満たさない場合（京都の伝統仕様も含む）は 0.5 として扱われています。しかし、京都の伝統仕様の土壁の場合、今までの各所の実験では 2.0 から 2.4 程度の壁倍率が確認されています。もし、今後、壁倍率 2.0 程度の土壁を使えるようになった場合、竹小舞下地の土壁を積極的に使っていきたいですか？その理由もご記入下さい。

積極的に使っていきたい、思わない、その他（   ）

その理由（

）

竹小舞下地の土壁は現在ニーズが少なくなっていますが、その原因と対策についてご意見下さい。